四倉新報

發行日一回　毎月十五日
編輯兼發行人　小林庫三
福島縣石城郡四倉町中町四十一番地
福島縣石城郡平田町三十一番地
印刷所　一〇活版所
本紙定價一部十錢　月貳拾錢年(二圓)

朝野兩黨の策戰

民黨の攻擊に對し與黨側一蹴の意氣込み

來議會に對する政府並に與黨の對策は未だ床次氏歸朝せざるを以て新黨倶樂部の向背確定せざるも大体に於て政局の大勢は政府與黨に有利に展開しつゝあれば多少の曲折は免かれぬとしても議會迄には絶對多數を擁するものとして頗る樂觀的態度を持して居る、而して野黨としては眞向から對支外交事とし首相、外相、藏相の内政諸問題を提げて政府に肉迫するものは獨り民政黨のみで他の無産其他は殆ど眼中に於てないが、民政黨は其頭數に於て遜色ありとするも、かつて憲政會當時戰ゼあるこ。

ただけ一騎當千の猛者も相當にあり、殊に民政黨にては其勝負の如何に拘はらず總括的不信案を以て臨む事に一致して居り個々の問題に就き質問せんとする者も決して居る故、政府側も與黨方面にても之れが應戰の對策としては成る可く即決否決を以て臨むし完全に隱匿たのである。其後引續き隱匿登記の手配中に農工銀行より差押へられ鳴き顔をして中止しだ隱匿せんが爲め所有權移轉登記の價格を虚偽の申請して登錄稅を莫大に嘴着す當局の活動なきか

前記五月廿四日より六月一日迄に久田盛一が財産隱匿の爲に申請せる登記價格を田岡に時價貳拾余萬圓以上の山林及田畑を僅が二萬一千余圓で賣渡し登記申請し故意に虚偽の申請を爲し千余圓で賣渡し登記申請し國家の收入となる可き登錄稅を嘴着せる者なるか如何に無智なる者なりとするも

るが故に勿論全財産を提出し株主のため預金者のために債務を盡す可きが當然の義務である而るに惡謀全身に漲れる久田盛一は……

……昭和三年五月二十二日磐銀休業の直後五月廿四日より某代書人を手先にし財産隱匿を開始した五月廿四日より六月一日までの間に山林を一百九筆此價格約三十數萬圓也、六月二日より七日迄田地約八十筆價格十萬圓、以上を久田盛一相續人久田岡に賣渡し登記濟となる可く即決否決を以て臨むし完全に隱匿たのである。

磐銀重役

久田盛一の

農林社製造は財産隱匿の目的ならずや

磐城銀行が日本銀行及び農工銀行其他より借入金を爲すに當り同行重役である久田盛一が某所に於て言明せる處を以ても明瞭である。

地方屈指の資産家である久田盛一の保證に依り當然磐銀と田盛一個人保證を爲し居たの連帶債務を負うたのである前述隱匿登記濟の内五月一日より六月廿四日迄の筆數百九筆の山林は久田の大部分財産である。此の山林は七十年以上二百年生の松杉雜木等繁茂して居る、尤も久田盛一の祖父の代より此の山林には斧を入れたる事無く從つて此の山林とは言ひ、大木の林を爲し居り物すごい程の蜜林である、此の價格を最低時價に見積りて約二十余萬圓は確實と實地踏査の者の言でもあきらかであり、又村民一般の言い居る處で見ても明瞭である。以上の如き二十余萬圓の價格の者を登記申請貳萬一千圓で登記濟となし居る事は登記閲覽に依つて記者の知る處である。

親子共謀して惡代書人を使用し監督官廳を嘴着し虚偽の登記申請を爲し、大脱稅を計畫的に遂行せる事は斷じて許す可からざる者である、かゝる非國民的行爲は社會大衆の戒めの爲め監督官廳に於て實地調査の上遂徵金を科せられん事を附近町村民は望んで居る。

登記價格虚偽の申請を爲せるは明らかに文書偽造の罪に罰せらる可き

農林社製造は財産隱匿の目的ならずや

時價の十分の一にも當らざる値段を以て賣渡すが如き事は斷して無い事である。言わんや智識階級に屬する久田の親子に於ては時價よりも高價に賣るにしても安價に賣る樣な事は平素の定評によつても無い事である事實種々の方面より觀察するも登記稅數千圓の嘴着せんとして登記所に虚偽の申請を爲し目的を遂げたる者である。

從て公務員に對し虚偽の申立をなし(文書を以て)莫大なる稅金を嘴着せる者と云ふ事は明瞭であるに依つて當然文書偽造の罪に處斷せらる可きである、今や國を擧げて思想善導を高唱するの時智識階級であり、大資本家である久田氏親子の如き國家の收入となる登錄稅を嘴着するが如きは實に許す可からざる者である、當局に於て目洩こぼしにされむか社會大衆の思想を益々惡化さする原因となるでは無かろうか又此の事件の一切の書類を作成せる司法代人書の某も多年地方に住居し居り事情を熟知し居る者にて當然共犯として罰せらる可きである。

因みに此の代書人某は先般横領の罰に依つて檢事局に於て取調べられたるが情ある某檢事のために起訴猶豫とされたるこの事なるか果して如何?。

四倉町町會議員に一言

議員の旅費日當支給規定の變更する意志なきか

四倉町町會議員の旅費日當何。無からう……而るに議員として出張の場合、如何支給を見るに宿泊料五圓、日當一圓五拾錢、汽車賃一哩四錢である、今各地の宿泊料を調査し見るに一泊二圓乃至三圓なれば上等、中食は旅館に付へても一圓より一圓五拾錢なれば飛切御馳走があるか、蕎麥屋なれば二十錢が五十錢で出來得るのである、而るに何が故に議員が高率な旅費の支給を受くるのであらう、出張すれば必ず實費の倍は儲かる樣に出來て居る、又汽車賃を見ても甚だ奇怪至極である。一哩五錢……二等乗車の賃金である、今四倉町の町會議員諸氏にて常に二等に乗車し居る人ありや如

に規定とは言へ、倍ずつの賃金を受取り寢ざめが惡く無からうか、其の旅費支給規定も議員の議決權行使に依つて制定さるゝ以上町會議員にして眞に愛町の念あらば當を得ざる、即ち町民の心好しとせざる支給規定は變更し實費支給にす可きであると町民の聲である。

久しく紛擾中の大野小學校增築問題

圓滿な解決を遂げ愈々基礎工事着手

本郡大野村尋常高等小學校

れにしても人を祝らば穴二ツとの事故に投書した人も不動尊像の樣に眞赤になつて心配して居るとか。

◎平町尼子の運轉手某と湯本藝者の友江とは久しい間たとい火の中水の底と云ふ仲であつたが友ちやん、つらつら思ふ樣、夜毎に少くなる弗且、さては湯錢迄で不自由の身となつたので心氣一轉某をあきらめ商賣本位に立戻つたが、あきらめて摘發した商賣敵きの同業者某も近日中に誣告の罪に問れるんであるまいか、何

中川前迄の貸切の歸り道……女に拂捨てられた悲みと秋の淋しさで眼も暗んだのか丈餘の斷崖より自動車もろ共墜落せるが生命に別狀なく不幸中の幸であつた。

×　×　×

◎四倉町現町長の任期も愈々來年三月となつたので町會議員の二三名が、現町長再任を畫策して居るとの噂であるが果して事實か……如何に腰ぬけ議員と言ひ共かゝる事は出來得ないだらう……良心があるならばと町民は云ふて居る。

喫煙室

◎亡者の事なら千里眼ほどろか萬里眼と豪語して居た法華一、自分が地獄へ落ちる事だけはわからなかつたらしい違警罪即決に依つて廿九日間夫婦とも地獄の針の山行きを命ぜられて黑鬼に引ぱつて行かれたと。又此の法華の惡事を投書して摘發した商賣敵きの同業者某も近日中に誣告の罪に問れるんであるまいか、何

増築問題に附き數ヶ月間、紛擾中なりしが此の程やうやく新妻盛氏の調停にて圓滿なる解決を遂げ、工事請負者も指命にて決定愈々基礎工事に着手したれば新學期開初迄には落成すると。

追分

御大典奉祝

(前唄)
三種の神器をうけつぎ給ふ
畏くも我大君は尊けれ
今日のよき日に津々浦々も
手……
祝ふ心はみな一ッ

(本唄)
たぐひなきすめらみくにに
產れし吾等こそ、の苦も
なく生きて行く、

(後唄)
米もとれたし新酒も出來た
……
萬歳唱へて踊りましよ。